

2007年度教育連携協議会教育連携事業 《高校生のための大学講座》

本講座は、学部等の説明会ではなく、各学部からテーマに沿った高校生向けの講義を実際に大学で体験いただくもので、大学での講義や研究内容の一端に触れていただくことにより、自らの学習目標となり、進路選択の一助となるよう実施しています。

- 学習内容 高校生の学習に対する目標となるような講義内容
高校生の進路選択（学部・学科）に参考となるような講義内容
テーマ 「くらしの中の学問」
岡山大学各学部1名の講師による講義
- 開講時期 8月7日（火）・8月8日（水）10：30～15：10（1時限50分授業 全8コマ受講可能）
- 講師・講義題目

【平成19年8月7日（火）】

文系学部コース

限	授業時間帯	講師	講義題目及び概要
1	10：30～11：20 A	堤 良一 (文学部 准教授)	「外国の人はどうして日本語を間違えるのか」 なぜ、外国の人は日本語を間違えるのでしょうか。そして、なぜ我々ネイティブ話者は彼らの間違いに気づくことができるのでしょうか。
2	11：30～12：20 A	安藤 元紀 (教育学部 准教授)	「生き物を知る・人を知る」 生命工学分野の研究成果を事例とし、大学で「学ぶ」・「研究する」ことの意味について考える。
3	13：20～14：10 C	中川 忠晃 (法学部 准教授)	「私たちのくらしと法律～民法を中心に～」 私達のくらしと法律の密接な関わりを解説します。
4	14：20～15：10 C	下野 克己 (経済学部 教授)	「現代日本経済史」 20世紀の日本の産業経済の変化について

理系学部コース

1	10：30～11：20 B	小林 達生 (理学部 教授)	「極限の世界」 極低温・高圧・強磁場の極限状態で現れる量子の世界を紹介します。
2	11：30～12：20 B	大森 齊 (工学部 教授)	「免疫とバイオテクノロジー」 病原体から体を守る免疫の仕組みについて説明し、この分野のバイオテクノロジーがいかにかに社会に貢献するかについて述べる。
3	13：20～14：10 D	松井 康弘 (環境理工学部 准教授)	「3Rと循環型社会」 レジ袋の削減、ペットボトルのリサイクルなどの3つのR (Reduce, Reuse, Recycle) の現状と循環型社会に向けた課題について紹介します。
4	14：20～15：10 D	中筋 房夫 (農学部 教授)	「くらしの中の昆虫学」 日常的に接する機会の多い昆虫は、農作物害虫、衛生害虫としても人のくらしに関わっている。

【平成19年8月8日（水）】

医歯薬学コース・英語特別講義

限	授業時間帯	講師	講義題目及び概要
1	10：30～11：20	横田 憲治 (医学部 准教授)	「ミクロの住人たち」 人間の体にも環境にもたくさんの目に見えない微生物が存在し病気をおこしたり、人間の役に立ったりしています。
2	11：30～12：20	松尾 龍二 (歯学部 教授)	「口の中の環境と病気」 口の環境の変化で病気が起こる？この仕組みを考えてみよう。
3	13：20～14：10	田井 章博 (薬学部 准教授)	「効果的なビタミンCをつくる」 ビタミンCの発見から最近のビタミンC誘導体の開発までについて紹介します。
4	14：20～15：10	ナジマ ジャンジュア 他 (外国語教育センター 准教授)	「ネイティブ教員による英語特別講義」 Experiencing a university English class: Introducing myself

- 受講対象学年の限定はしないが、概ね2年生を中心とした授業を行う。
- 受講について 2日間の受講を原則とするが、1日単位での受講も認める。
1日目は、文系学部コース・理系学部コースのいずれかを選択し、受講するものとする。
但し、文系・理系相互を希望する場合は、上記表中A・Bのいずれか一方、C・Dのいずれか一方の選択受講を認める。
- 受講人数 各コース80名以内
- 開講場所 岡山大学一般教育棟B棟109講義室・B棟110講義室
- 開講式 8月7日（火）10時10分から一般教育棟B棟110講義室で行います。出席ください。
- 閉講式 8月8日（水）4時限終了後に行います。出席ください。
- 聴講料 徴収しない。
- 申込み方法 各高等学校で取りまとめの上、受講者名簿（別紙様式）を岡山県教育庁指導課に提出願います。なお、原則先着順としますが、申込み多数の場合は高等学校単位で人数制限を行う場合がありますのでご了解願います。
- 申込み期日 平成19年7月10日（火）